

# 靴下で歩きやすさを極める

西垣靴下株式会社



西垣靴下の“エコノレッグ”  
「歩き ING」

“エコノレッグ”「歩き ING」は、歩くとは何かを細かく分析し商品化した究極の機能靴下。現代人の健康維持のために不可欠な商品。

## 1. 歩きやすさを極めた「歩き ING」

正月明けのある日、正月でなまった身体をほぐすため約 10km(約 3 時間)のウォーキングをした。足には、西垣靴下で購入した「歩き ING」を履く。久しぶりのウォーキングのため少し全身は疲れたが、足は調子がよく全く快適だった。

「歩き ING」の履き心地は、懐かしさを覚える。実は、圧着感といい、つま先の反り具合といい、子供の頃に履かされた足袋そっくりなのである。昔の人のこだわりが現在の靴下に蘇った気がする。

西垣靴下社長の西垣氏は足の健康について蘊蓄を傾けて説明される。

『歩くときに、足を踏ん張ります。足を踏ん張るときは足の親指が地面を握っています。そのためにはつま先は親指が分かれた足袋型が最適です。』

通常の靴下は靴の中で動くため疲れやすい。そのためポリウレタンの弾性を利用してかかとを固めることで、ずれなく心地よいフィット感を出しています。着圧感はあるが、その中で血行をスムーズに行わせるために口ゴムをゆったりさせています。

足先を反らす力が衰えてくるから年齢を重ねると転びやすく捻挫したりする。そこで X 形にテーピング編みを入れることで靴下のつま先を上にもらすことにしました。

また、靴下の底の部分はパイル編みでクッション性を持たせているので疲れません。』

まだまだ、説明は続く。

これだけ足のことを考えた靴下は世の中に 2 つとない。ヨシ使ってみようと「歩き ING」を一足求めることにした。手ごろな値段で後は試してみるだけというので、10km のウォーキングとなった次第である。靴下「歩き ING」は、社長の蘊蓄どおりの効果を発揮している。

中高年の健康の基本である“歩く”に貢献する商品であり、



医療費増大で国の予算を圧迫している現在、少し大げさだが「歩き ING」は救世主になると思われる。

2008年「ならグッドデザイン・技術デザイン賞」を獲得。2010年には遷都1300年祭記念奈良マラソンの公式認定ソックスとなっている。

今まで大手企業のOEM生産を主としてきた同社にとって販売は大問題である。今はインターネット販売を主とした売り方をしているようで、じわじわ支持を広げ、現在は6万足の売上だそうである。競合他社は大手で強い販売ルートに流れているが、「歩き ING」に比べ種々機能が劣るようである。『「歩き ING」の持つ機能品質で販売ルートの弱みを十分カバーできますよ』と自信を持って語る社長であった。



## 2. 足の健康をとことん追求する機能性靴下シリーズ

「歩き ING」のほかに種々の健康機能靴下を販売している。

天然ミネラルを練りこんだ繊維で作る冷えから足を守る「あし湯のぬくもり」

ヒアルロン酸配合保温シートでうるおいを保つ「うるるん」

消臭機能繊維を使っているの得意なおいシャッタアウト「脱・臭足宣言」

防カビ加工繊維でカビの心配の無い「抗カビ快足」

これらの商品群は、足の色々な健康にこだわる当社の強い姿勢がうかがえる。いずれも大手繊維会社が開発した機能性繊維をいち早く商品化したという特徴はあるが、中核技術が他社のものである点、中核技術が自社である「歩き ING」とは、一味違う商品群である。

## 3. 世界一高級靴下の産地奈良の誇りを持った商品作り

『国内の靴下は8割が中国からの輸入とのこと。したがって国産品は2割。その国産品靴下の6割まで奈良県で作っています。価格では太刀打ちできない国産品が売れるのは高品質であるから。県下の靴下製造業者は、品質競争で切磋琢磨しています。したがって、県下の靴下は、世界一高級品です。』と言い切る西垣社長。世界一の品質を提供する誇りを持ってまい進する奈良県の靴下産業には明るい未来が待ち受けていると確信した。

### 西垣靴下株式会社



代表取締役社長 西垣 和俊

〒635-0076

奈良県大和高田市大谷61番地

TEL ■ 0745-52-0088

FAX ■ 0745-22-5929

URL ■ <http://www.nishikutu.co.jp/>